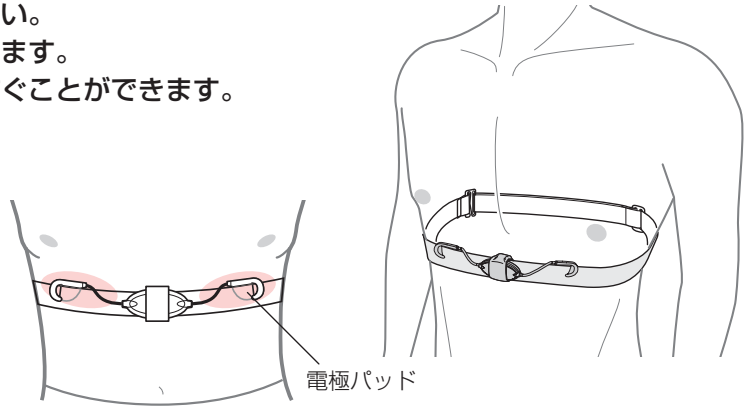


うまく心拍数が計測できない時は以下の点を確認してください。
計測ミスのお大半は心拍センサーの装着方法が原因と考えられます。
心拍センサーに少し気を使っていただくことで計測ミスは防ぐことができます。

●電極パッドの位置について

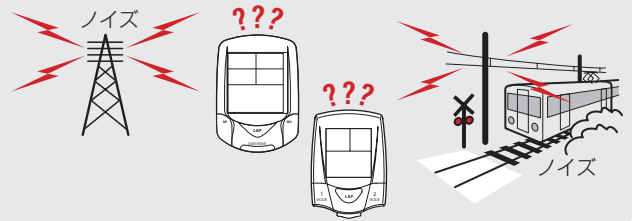
電極パッドはお使いになる方の身体に合わせて装着することが安定した計測の基本となります。
一般的にアンダーバストと言われますが、人によって心拍数を検出しやすい位置は微妙に異なります。
左右の電極パッドを少しずつ移動させ、ご自分でどのあたりに合わせたら良いかをテストし、把握されることをお勧めします。



※注) CC-TR100/CC-HR200DWの心拍センサーには互換性はございません。

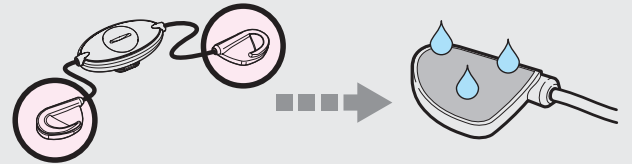
1. 同じ場所で異常が発生しませんか？

いつも特定の場所で計測値の異常が見られる場合は、外来ノイズの影響が考えられます。
特定の場所で感知する強い外来ノイズは防ぎきれません。できるだけそのような場所から離れてご使用ください。



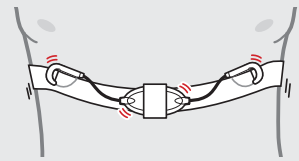
2. 電極パッドのラバー面と身体の接触面が乾燥していませんか？

乗り始めや冬場など乾燥した季節に多い症状です。
電極パッドのラバー面と身体との接触面を湿らせることで大半の場合、回避できます。



3. 装着ベルトが緩すぎませんか？

装着ベルトが緩すぎると電極パッドが身体に密着しなくなり、異常値が出る場合があります。
きつく締める必要はありませんが、電極パッドがずれない程度にベルトの締付けを調整してください。



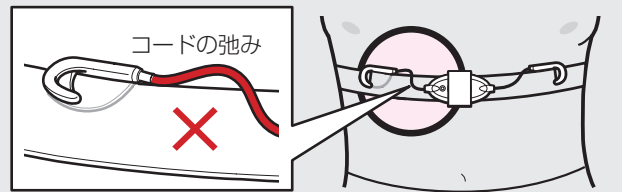
4. 電極パッドはしっかりと装着ベルトに差し込まれていますか？

電極パッドはしっかりと奥まで装着ベルトに差し込まれていないと、保持力が弱まり、電極パッドがずれて計測ミスを誘発します。
電極パッドを装着ベルトにしっかりと奥まで差し込んでください。



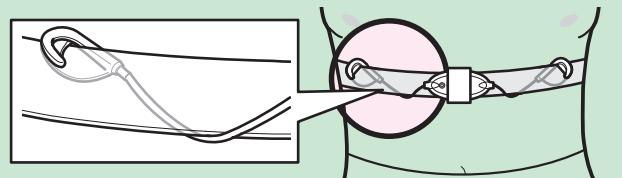
5. 心拍センサーのコードが大きく弛んでいませんか？

コードが大きく弛んでいるとコードに力がかかり、電極パッドが引っ張られて動き、計測ミスを起こすことがあります。
できるだけ弛みのない状態で装着してください。



●上記を試しても改善が見られない場合は・・・

1. 装着ベルトに電極パッドのコードを巻付けて装着する
コードを装着ベルトに巻付けることによって、電極パッドを身体に押しつける力を強くします。



2. 保湿クリームを塗布する

水よりも粘度のある保湿クリーム等を電極パッドのラバー部に塗布することで、電極パッドと身体の通電性を良くして計測ミスを防ぎます。

